



つなぐ

校長 金泉 隆一



新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には穏やかな新年をお迎えのことと思います。今年一年が加平小の子どもたち、そして保護者・地域の皆様にとって幸多き年でありますようお祈りいたします。本年もよろしくお願ひいたします。

また、冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭でのきめ細かなご指導に感謝いたします。

さて、今年も恒例の「箱根駅伝」が開催されました。「箱根駅伝」を観ることは、私の年中行事の一つで、今年もTVに釘付けになっていました。

箱根駅伝は1920年に始まり、今年が95回目となる歴史ある大会です。距離は往復で217.9km。昨年度の結果からシード権をもった大学と予選会を勝ち抜いた大学の20チームが参加し、10人の選手が一人18.5km～23.4kmを走ります。選手の走る速さの平均は、時速20kmくらいだそうですから、すごい速さです。いつもその速さに感心するとともに、さらに、山盛りといわれる5区の標高差864mを駆け上がる強靱な心と体にただただ驚かされます。

そして、選手と選手をつないでいるのが「たすき」です。次の走者に一本の「たすき」をつなぐために選手は、前を向き、懸命に走ります。しかし…

「箱根駅伝」には、交通混雑を避けるため、先頭走者から10～20分経つと、次の走者は繰り上げスタート（往路：鶴見戸塚中継所〈10分〉、平塚・小田原中継所〈15分〉、復路：すべての中継所〈20分〉）となるルールがあります。以前の大会では、次の走者が見えているのに、あともう少しでというところで「たすき」を渡すべき目の前にいる次の走者がスタートするというシーンがありました。厳しい現実です。すぐ目の前にいるのに「たすき」をつなげなかった選手の悔しさと仲間への申し訳なさが、泣き崩れる選手の様子からひしひしと伝わってきます。また、時間から考えれば、次の走者が繰り上げスタートで中継所にもういないにもかかわらず、「たすき」を手渡すかのように自分の体から「たすき」をはずし、しっかりと手にして走る選手があります。「たすき」をつなげなくても、最後まで全力で走り切る選手たちの姿がありました。こうした選手の懸命な姿を観るたびに、この一本の「たすき」は、走りをつなぐだけでなく、選手の心もつないでいるのだと感じます。

「後を頼む！」 「自分も頑張ったから、おまえも頑張れ！」 「あきらめるな！」

そんな声が聞こえてくるようです。たとえ「たすき」はつなげなくとも「思い」は渡したいと、次の選手に「思い」を届けているように感じました。だからこそ、最後まで「たすき」を手にして全力で走り切るのだと思います。

もう一つ、サポートにまわっている部員にも思いをはせながら観ていました。

晴れて選手となり箱根駅伝を走れるのは、わずか10人。選手以外の多くの部員は、それぞれの役割をもって、選手のサポートにまわります。以前、監督から「今回はチームのサポートに徹してくれ」と言われた時の部員の思いを紹介されたことがあります。

「悔しい」「ショックで涙が止まらなかった」「何のために今まで頑張ってきたのかと思った」

など、その思いは複雑です。しかし、最後にはその複雑な思いを「チームのために」という思いに切り替え、「自分にできることは何か」と考えて、サポートに徹していると思うからです。サポートには、選手の荷物を管理する、選手のボディマッサージをする、走り終えた選手を介抱する、沿道で声をかける、給水のペットボトルを渡すなどたくさんの役割があります。

そのサポートの一場面として「給水」の様子が必ず映し出されます。給水地点では選手と並走してペットボトルを手渡す部員が選手に向かって声をかけています。「笑顔でゴールしろよ」「リラックス、リラックス、楽しめ」など、いくつかのエピソードが伝えられます。

給水係は、自分の箱根駅伝への思い、チーム全員の思いを込めて選手に手渡すのでしょう。それを受け取る選手の表情は、笑顔で拳の親指を立てて応える選手、無言でうなずきながら受け取る選手、苦しい表情の中にもホッとした表情を浮かべる選手、その表情も様々です。選手に手渡したペットボトルを、選手からペットボトルを手渡され受け取った給水係の部員の姿は、選手と共に箱根駅伝を戦っているという誇らしげなようにも見えます。選手とサポートの給水係がともに目指してきた箱根駅伝への互いの思いが、重なった瞬間でもあり同時に、つらく苦しい中でも他者への思いやりを大切にすることの尊さを感じる瞬間でした。

こうしたサポートする部員たちの思いがあるからこそ、選手は自分の力を安心して発揮できるのでしょう。一本の「たすき」には、出場選手10人の思いだけでなく、サポートスタッフを含めたすべての部員の思いが他者への思いやりの心が詰まっているのだと私は感じています。

人は、人と人とのつながりの中でこそ成長していきます。他者への思いやりの心を大切にして、つながっていくことが、これからの社会を創る上で何よりも大切なものではないかと感じています。

1月行事予定

日	曜	行事予定	相談室	かへいキッズ (年)	あいさつ当番
7	月	冬季休業終			
8	火	冬休み明け登校初日 通学班登校始	○	1・3・5・6	通学班登校 のためなし
9	水	給食始 発育測定(4年) ハッピー貯金表取り組み(～23日まで) 席書会①1, 2年 1・2時間目(3年) 3・4時間目(6年)		1・2・4	
10	木	発育測定(2年) 席書会② 1, 2時間目(4年) 3, 4時間目(5年) パワーアップタイム		2～6	
11	金	通学班登校終 発育測定(5・6年) 安全指導	○	2～6	
12	土	漢字検定			
13	日				
14	月	成人の日			
15	火	個別登校始 発育測定(3年)	○	3～6	2-2
16	水	特別時程 委員会活動(5・6年) 書き初め展始(～22日まで) 発育測定(1年) 給食交流会(たんぼぼ保育園)		1・3・5・6	
17	木	学校視察(中国より) パワーアップタイム		1・2・4	
18	金	クラブ活動(4～6年)	○	2～6	
19	土	土曜授業 道徳授業地区公開講座 男子サッカー大会(午後)		2～6	
20	日				
21	月	もりもり給食ウィーク(～25日まで)		3～6	
22	火	書き初め展終 交通安全教室(1・2年)	○	1・3・5・6	2-3
23	水			1・2・4	
24	木	外国語校内研修授業(3年) パワーアップタイムなし		2～6	
25	金		○	2～6	
26	土	サッカー大会決勝(総合スポーツセンター) あだち子ども将棋大会(千寿本町小9:00～13:00)			
27	日				
28	月			3～6	
29	火	エンジョイタイム 学年行事5, 6時間目(3年)	○	1・3・5・6	1-1
30	水	校内百人一首大会3, 4時間目(5・6年)		1・2・4	
31	木	新一年生入学説明会14:40～ パワーアップタイムなし		2～6	

○ 道徳授業地区公開講座のお知らせ ○

「平成30年度道徳授業地区公開講座」を下記の日程で開催いたします。心の教育や家庭・地域社会における道徳教育のあり方等について、相互の理解を深めるための機会にしたいと思っております。多くの皆様にご参観いただきますよう、よろしくお願いいたします。

〈日時〉 平成31年1月19日(土) 午前9時15分～10時50分

〈内容〉 道徳公開授業 9時15分～10時 (各教室)

講演会 10時5分～10時50分(体育館)

音楽会を終えて

音楽専科 松沼由起子

12月7日、8日に音楽会が本校体育館で行われました。音楽会后、「音楽会楽しかったです!!」「ありがとうございました。」と目を輝かせながら元気に声をかけてくれた子供たちです。

各学年にテーマを設定し、テーマに合った楽曲や企画・構成を考え、練習を進めていきました。テーマについて考え、歌詞の心を感じ取り、思いをもって、それを伝えようとしていた子供たちの姿がありました。そして、聴いてくださる人に楽しんでもらいたい、感動させたいというめあてをもって、自分の奏でる音を高める努力をしていました。

保護者、地域の方には、「子供たちの一生懸命な姿に感動しました。」「涙が出ました。」などの嬉しい感想をいただきましたが、加平小の子供たちにとっては、練習経過において、決して楽しいことや面白いことばかりではなかったと思います。希望していた楽器担当になれなくて、悔しかった子、大きな声でセリフを言うためにたくさん練習を重ねてきた子、友だちの担当する楽器が決まるまで、自分のことのように心配した子、友だちができるようになるまで熱心に教えてあげた子、家に楽器やバチを持ってまで上手になるまで練習を頑張った子・・・などいろいろな思いがある中で、様々な出来事乗り越え、協力し合い、一人一人が最高の表現を目指してステージに上がりました。音楽会を通して、表現力を高めるだけでなく、努力することや我慢すること、協力し合うことの大切さなどを知り、多くを学ぶことができたのではと思います。

保護者鑑賞日には、たくさんの温かい拍手をありがとうございました。3年に一度の音楽会を楽しみにしてくださり、子供たちを温かく応援し、励ましてくださった保護者の方、地域の方に心から感謝し、お礼を申し上げます。

子供たちの感想から

(1年生) ♪初めての音楽会、ドキドキしたけれど楽しかったです。音楽会が大成功してよかったです。♪「11ぴきのねこ」ではソロがあったので、学校でも家でもたくさん練習しました。知らなかった音楽がきけて、もっと音楽が好きになりました。♪音楽会が成功したのは、いっぱい学校で練習したからです。2年生の学芸会も頑張りたいです。

(2年生) ♪がんばったことは、「メリーさんのひつじ」です。頭の上でけんぱんハーモニカをひくのは、はじめはとてもむずかしかったです。♪セリフを思いっきり言ったら、心がふわっとしました。♪発表が終わったとき、たくさんの人にはく手もらったのがとてもうれしかったです。

(3年生) ♪「なべなべそこぬけ」でいろいろな国の音楽を表現できることがわかりました。♪セリフを大きな声で言えるようになりました。♪音楽会前のオーディションでたくさんの楽器を受けたので、いろいろな楽器にちょうせんすることができました。♪練習すればなんでもできるようになるとわかりました。

(4年生) ♪リコーダーのタンギングをマスターして、きれいな音が出せるようになりました。♪自分が目立つ楽器にならなくても一生けんめいやるのが大切だとわかりました。♪練習を通して、じっとすること、音をたてないようにすることができるようになりました。

(5年生) ♪前から歌が好きだったけど、この音楽会でさらに好きになった。♪任された楽器のリズムがすごく難しくてどうしようかと思いました。家でも練習して、できるようになったらとても楽しく演奏できました。

(6年生) ♪声変わりが始まっているのに、声を裏がえしにしてまできれいな声をだしている男の子たちがすごいと思いました。♪みんなで体の動きや心を一つにすることができ、絆が深まりました。♪音楽会を終えて、もう一年この学校にいたいと思いました。

生活指導部より

1月の生活目標

あいさつをきちんとしよう。

新しい年が始まりました。気持ちの良い1年になるよう、人に会ったら元気よくあいさつをしましょう。

~~~~これが加平っ子のあいさつ名人!~~~~

- |      |                  |      |                     |
|------|------------------|------|---------------------|
| レベル1 | げんき<br>元気に       | レベル2 | かお み えがお<br>顔を見て笑顔で |
| レベル3 | あいて さき<br>相手より先に | レベル4 | ひとこと<br>一言つけくわえて    |



## ユニセフ集金

代表委員会担当 堀込 太郎

12月13日(木)に代表委員会の児童がユニセフ集会を行いました。代表委員は事前に、ユニセフとはどんな団体なのか、ユニセフの主な活動は何があるのか、募金が集まるとどのようなことができるのかなどについて、全員でポスターを作りました。ユニセフ集会では、画像を見ながら代表委員の説明を聞き、世界の恵まれない子供たちの現状について学びました。世界中には、学校に行きたくてもいけない子供たちがいます。何が原因で学校に行くことができないのか、または、どのような生活上の苦しみがあるのかなどについてのクイズをすることで、世界中の恵まれない子供たちの現状についても知ることができました。12月14日(金)から21日(金)までの朝の時間、代表委員は全員で玄関に立ち、全校児童へ募金の協力を呼び掛けました。集まった募金額は、去年の募金額を上回る**¥54,465**でした。

集まった募金は、日本ユニセフ協会へ送金し、世界の恵まれない子供たちのために使われます。

たくさんのご協力ありがとうございました。



1年



2年

# 音楽会

3年



4年

## かなでよう♪心にひびく みんなの音色



6年



5年



合唱団

H30.12.7~8



音楽クラブ

